

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公表番号】特表2004-500215(P2004-500215A)

【公表日】平成16年1月8日(2004.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2004-001

【出願番号】特願2001-575879(P2001-575879)

【国際特許分類】

A 4 7 L 15/44 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 15/44

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月3日(2008.3.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 固体洗浄剤からの使用溶液を洗浄機中に分配する方法であって、以下のステップ：

a．底部を有する固体洗浄剤(50, 60)をディスペンサー(10)中に配置し、前記ディスペンサー(10)はチャンバー(11)を有し、前記チャンバーは空洞(31)を定め、かつ水注入口(21)及び水排出口(29)を含み、かつ前記空洞(31)は前記固体洗浄剤(50, 60)の底部を支持部材(42)上で受容するように設計され、かつ配置され；

b．前記ディスペンサー(10)の前記水注入口(21)に水を供給し、ここで前記水は前記チャンバー(11)の前記空洞(31)内の一定水位まで供給され、それにより前記固体洗浄剤(50, 60)と接触し；

c．前記固体洗浄剤(50, 60)の前記底部から水中に前記固体洗浄剤(50, 60)を浸し；

d．前記水中に前記固体洗浄剤(50, 60)の一定量を溶解し、かつ使用溶液を形成し；そして、

e．前記水排出口(29)を介して前記ディスペンサー(10)から前記使用溶液を放出し、ここで前記使用溶液が、前記水排出口(29)を通して前記チャンバー(11)から流出し、さらに前記洗浄機に流入する、を含む前記方法。

【請求項 2】 前記チャンバー(11)の前記空洞(31)内の前記水位が約 0.635 ~ 7.62 cm (1/4 インチ ~ 3 インチ)である、請求項 1 に記載の、固体洗浄剤(50, 60)からの使用溶液を洗浄機中に分配する方法。

【請求項 3】 前記水が約 26.67 ~ 82.22 (80 ~ 180 ° F) の温度を有する、請求項 1 に記載の、固体洗浄剤(50, 60)からの使用溶液を洗浄機中に分配する方法。

【請求項 4】 前記水排出口が常に開放されており、さらに前記水が毎分約 0.38 ~ 7.57 リットル (0.1 ガロン ~ 2 ガロン) で前記水注入口(21)に流れ込み、さらに前記水が毎分約 0.38 ~ 3.79 リットル (0.1 ~ 1 ガロン) で前記水排出口(29)から流れ出る、請求項 1 に記載の、固体洗浄剤(50, 60)からの使用溶液を洗浄機中に分配する方法。

【請求項 5】 前記固体洗浄剤 (5 0 , 6 0) の均一な溶解が生じ、それにより前記固体洗浄剤 (5 0 , 6 0) の比較的一定の濃度及び比較的一定の形状を維持する、請求項 1 に記載の、固体洗浄剤 (5 0 , 6 0) からの使用溶液を洗浄機中に分配する方法。

【請求項 6】 以下の：

- a . 底部を有する固体洗浄剤 (5 0 , 6 0) ；
- b . その洗浄剤ディスペンサー (1 0) に水を供給する水源；及び、
- c . 支持部材 (4 2) 上の前記固体洗浄剤 (5 0 , 6 0) の前記底部及び前記水を受容するように設計され、かつ配置された空洞 (3 1) を定めるチャンバー (1 1) であり、前記チャンバー (1 1) は水注入口 (2 1) 及び水排出口 (2 9) を含み、前記水注入口 (2 1) は前記水源からの前記水を受け入れるように設計され、かつ配置され、ここで前記水は前記空洞 (3 1) 中に注がれ、前記固体洗浄剤 (5 0 , 6 0) の前記底部から前記固体洗浄剤 (5 0 , 6 0) を浸し、さらに前記固体洗浄剤 (5 0 , 6 0) の一部を溶解して使用溶液を形成し、さらにここで、その洗浄剤ディスペンサーが使用中でない場合、前記水排出口 (2 9) は実質的に全ての前記使用溶液を前記チャンバー (1 1) から外に分配するように設計され、かつ配置される、を含む、洗浄剤ディスペンサー (1 0) 。